

4.16~18 総決起 決戦ストへ



「80春闘の最先頭に立つ…」新生佐倉支部青年部の決意表明に
おしみなない満場の拍手が送られた。(4.11 千葉転講習室にて)

日刊 動労千葉

80.4.15
NO. 403

国鉄千葉動力車労働組合

千葉市要町二一八(動力車会館)
鉄電二三五八九・公衆電話(22)七二〇七

『本部』反動分子のスト破壊 策動を断固粉碎せよ！

80春闘はいよいよ決戦に突入する。動労千葉は結成後一年間の組織争闘戦の勝利を踏まえ、才三回定期大会で確立した方針をもって断固闘いぬいてきた。既に我々は80春闘と結合して三里塚二期攻撃粉碎、反合運動保安一新採獲得、佐倉支部結成、戦闘的全期潮流形成、動労大改革の成果を着実に積み上げてきた。組合員要求にもとづき大巾賃上げめざして連日の対国鉄本社交渉、関東地調委、公労委との接歩に万全の体制をもって臨み、一方職場の闘う力をグイ／＼盛り上げ、総評・春闘共闘や県労連・千葉県春闘共闘の取り組みに積極的に参加して闘い、「4.13国鉄運賃値上げ反対闘争」を全線にわたって5分、27分の列車遅延を現出する「全乗務員の始発時より10時までの減産日行動」として貫徹しぬいた。そして本日、春闘共闘統一闘争「4.15物価値上げ反対闘争」を全地上勤務・全乗務員の減産闘争を軸に闘いぬき、夕刻17時30分からの「16、18決戦スト突入総決起集会」の成功へあけバク進している。「4.23%、七六〇円などという超低額回答を認めることなどできない。総力をあげて決戦ストを闘い、大巾賃上げを獲得しよう！」「本部」反動分子のスト破壊策動を粉碎せよ！

情勢を切り拓いてきた

動労千葉の闘い

これまで「千葉動労はすぐにもつぶれる」このデマ宣伝をまきちらしてきた「本部」反動分子は、動労千葉のこの堂々たる前進と実績にすっかりあわててしまっている。最近の「再建情報」などにその心情がにじみ出ている。

79年秋年闘争から80春闘へかけて、三波のストをはじめ三里塚一反合を軸に具体的成果を積み上げてきた我々。他方、当局的「乗務員運用合理化」「55千実施」に屈服・協力しておきながら、動労千葉からの暴露・糾弾と首都圏各職場からの不信・不満の情出にうろたえ、「四月屈服を粉碎され、当局提案内容、その経過等を組合員の眼からかくすことにキュウキュウとしているのは一体誰か。35万人合理化の主軸は乗務員運用合理化6月締結裏切りを準備しているのは一体誰なのか。この一専をもつてしても、動労千葉への組織破壊策動」「貨物安定宣言路線」「水本運動」をもつてするセクト的引きまわし

のこごとくに失敗し、組織的・運動的

財政的に破産し「左前」になってしまった自らの姿を動労千葉の上に願望する「本部」マル反動分子の心情はミエミエである。労働運動の右翼的再編や「本部」反動分子の裏切りに怒り闘わんとする全国の職場生産点の活性化に真の戦闘的路線を与えてきた動労千葉の闘いに恐怖し、「ひとにぎりの裏切者」を使って動労千葉の闘いを妨害しようとする彼らの枯息な策動を粉碎し、万全の闘争体制をうち固めよう！

低額回答打破！ 全職場から総決起しよう！

当局の手先になってスト破りを策動する者を我々は絶対に許さない。動労千葉の80春闘は才10番目の支部として結成された佐倉支部の仲間も共に参加して闘う。闘う中から組織強化をかちとってきた動労千葉の底力を今こそ示そう。80春闘勝利へ総力をあげて決起しよう！

5.15 春闘勝利・決戦スト突入
全力で総決起集会へ
17時30分 千葉転区